

穂積匡史講演会「なぜ改憲が教育や子どもをゆがめるのか？」

みんなの教育・ふじさわネットが主催の穂積匡史(弁護士)講演会「なぜ改憲が教育や子どもをゆがめるのか？」が、3月15日藤沢産業センターを会場に開催され、71名が参加。丁寧に資料をたどり、明快で分かりやすい話に引き込まれました。参加者の感想文から、いくつかを紹介します。



〈講演する穂積氏〉→

国防軍へつなげる仕組みまで

とても聞きやすく、いろいろ考えさせられました。

中1、小4、年長の子どもがいて、今教科書を使っています。教科書が採択されたとき、とてもいやでしたが、それだけにはとどまらず、国防軍へつなげる仕組みまで作られていることにとっても憤りを感じ、また不安になりました。一体私たちが大切に心を寄せて育てている子どもたちをどう思っているのでしょうか？私1人では何もできませんが、今日のお話を1人でも伝えていきたいと思えます。

本日は本当にありがとうございました。

これからどうたたかえるのかの対案も

教育や子どもをゆがめていくそのプロセスが、具体的な事例を出していただき、よく理解できた。また批判だけでなく、これからどうたたかえるのかの対案も示されていたので、教育実践の面でも、有益になると思った。大変実のある講演会であった。

何とか抵抗していかなければと

教育はその国の根幹であると思いますので、子どもをどのように教育するかにより、その国の未来も決まってくる。自民党の憲法草案のままに教育されれば日本の未来はない。大変不安です。小さな力しかないけど 何とか抵抗していかなければと思います。まず多くの人々(国民)に知ってもらうことが必要ではないかと思います。

自分の命が自分のものでなかった時代から

自由、人権、戦争放棄、軍国少女にとってはそれまで耳にしたことのない言葉に仰天したものです。自分の命が自分のものでなかった時代から戦後、一つ一つ、手にした権利のすばらしさ

あの感動を、知れば、とても手放すことなんてできません。勿体ない。さー 何か 始めなくちゃ！！ ありがとうございました。

DVD 穂積匡史講演「なぜ改憲が教育や子どもをゆがめるのか？」200円でおおかけしています。代表松本へご連絡ください。TEL・FAX 0466-33-4820



「入学おめでとう」チラシ

藤沢市立のすべての中学校で配布

藤沢市では、教育委員の独断で、社会科の歴史と公民で育鵬社教科書が採択され、授業で使われ始めて2年が経過しました。特異な歴史観・政治姿勢を持つ育鵬社教科書が、何ら問題意識を持つことなく使われれば、子どもたちに影響が及ぶことは避けられません。

〔PHOTO 中河原昭夫さん〕 みんなの教育・ふじさわネットは、昨年初めて、「入学おめでとう」教育チラシを保護者に配り、一緒に考えようと呼びかけました。今年も入学式の4月7日、ネットのメンバーと多くの協力者計65人が参加、藤沢市の市立中学19校すべてで、校門前でチラシを配布しました。

この行動にかかわられた皆さん、ありがとうございました。『来年はこんな風に工夫して、またやりましょう。』などの声もあり、市民共同の取り組みが、確かな広がり、前進をみせています。

教育ネット 要望書と請願を提出

1. 「広い豊かな識見を有し、保護者、現場の教育関係者、市民などの意見を謙虚に聞きとり、判断・決定できる教育委員の選任を求める要望書」 鈴木市長へ提出

赤見教育委員 請願権を否定

赤見氏は、2011年7月定例会で歴史・公民ともに育鵬社いくほうの教科書を支持しました。これに至る定例会で教科書採択にかかわる請願の意見陳述については、「教科書採択は教育委員の責任と権限において、静ひつな環境のもとで行う」ことを理由に許可していないが、教科書採択にかかわる請願は受理し、審議しています。赤見氏は現在の5人の教育委員の中では、唯一採択に関わり、その経過を知る人物。それが、採択の請願は過去受けなかったしこれからも受けなくていいとの発言はあまりにも不見識であり無責任です。

☆藤沢市教育委員会、2014年3月定例会、議案第40号藤沢市教育委員会会議規則の一部改正についての審議での赤見教育委員の発言と教育部参事の補足説明。議事録から引用。☆

赤見委員 教科書採択に関する請願に関しては、静ひつな環境で採択させていただきたいということで、教科書採択に関する請願は数年前には受けていないということでしたが、これからも教科書採択に関する請願は受けなくてよろしいと解釈していいのでしょうか。また、その件に関しての項目は入れなくてよろしいのでしょうか。

中島教育部参事 (略)今後についても、あくまでも請願者に陳述をしていただくかどうかは、教育委員会委員各位のお考えで決定していただくというのですが、請願そのものについては憲法に保障されている国民の権利ですので、請願を不受理するのは困難なことと事務局としては考えております。

みんなの教育・ふじさわネットは、この秋の赤見氏の任期切れにともなう新しい委員の選任が迫るもて、2014年4月25日鈴木藤沢市長に、「広い豊かな識見を有し、保護者、現場の教育関係者、市民などの意見を謙虚に聞きとり、判断・決定できる教育委員の選任を求める要望書」を提出しました。5月13日付けで、企画制作部秘書課から、「人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものうちから、議会の同意を得て、任命しております。」等とする回答が送られてきました。

教科書採択 小学校は今年、中学は来年2015年 現場の声に耳を傾け、公正な採択で 藤沢の子どもたちにふさわしい教科書を

2. 「教科用図書調査書の写しを各教育委員が事務局に求めていただく請願」

井上教育委員長・吉田教育長へ提出

今回の藤沢市小学校教科書採択方針にある「1. 基本的な考え方」は、前回の小学校(2010年)、中学校(2011年)と同じ内容です。これには「(3)学校、児童生徒、地域等の特性を考慮して採択する。」とあります。学校、児童生徒、地域等の特性をよく知るのは、学校現場で子どもたちと授業でふれあっている教師達です。採択に当たり、各学校長が「教科用図書調査書」を作成し、教育委員会に提出します。これには、教師達が教科書の構成や内容、作り、藤沢の子どもたちの実態にあうのはどれか、などを検討した意見が反映されています。請願の柱は、次の2つです。

1. 教科用図書調査書の写しを、各教育委員が事務局に求めてください。
2. 教科用図書調査書を十分に考慮して、審議し決定してください。

この請願は、5月15日に行われた藤沢市教育委員会5月定例会にかけられましたが、意見陳述は不許可、請願は不採択になりました。

教科書展示会 教科書を見て、ご意見・ご感想をお出してください

来年度に使用する教科書見本が、次の会場において展示されます。

- 1) 県立総合教育センター善行庁舎(右地図) 6月13日～7月2日 9時～17時
- 2) 藤沢郵便局3階会議室 6月16日～6月27日 9時～17時
- 3) 藤沢市立の各小学校 ☆それぞれの小学校にお問い合わせください。

戦争と平和、憲法、人権、環境などがどのように扱われているかなど、自由にご覧になり、ご意見、ご感想をお出してください。採択時に参考にされることになっています。

